

平成29年度

地方創生総合戦略事業 事業評価シート

平成29年度分

担当課

農林水産課

基本目標	1 産業振興・企業誘致・就業支援による働く場の確保
基本方向	基幹産業強化による地域経済の活性化 次世代産業の育成支援による地域経済の発展 地場産業の推進による地域のブランド化と雇用の増進
具体的施策	地場産業の育成支援
事業名	No.111 新規農業者への支援及び環境整備
事業概要	新規就農者の増加を図り、今後の地域農業の担い手育成のため、支援体制を充実します。

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項 新規就農者数							
		KPI 平成31年度までに延べ18人							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	3	1	0	0			
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
平成29年度	評価（C）	【平成29年度評価】							
		担当課評価	県夷隅農業事務所、JAいすみ、市農業委員会等と情報の共有を図るなど連携し、就農にあたっての農地取得に係る現地案内や相談会を行うなど推進に努めたが、新規就農者の確保には至らなかった。						
	改善（A）	D							
		【平成30年度における取組み】							
		若者農家と行政・農業委員との交流を通して新規に若者が就農しやすい環境づくりや、支援等を行っていく。 農業委員会と協調して、農地取得がしやすくなるよう規制の緩和を検討するほか、農業経営の安定化や近代化を支援し、ほ場整備事業を推進するなど農業経営基盤の確立を行うことなどにより担い手育成を図る。							
		【評価等に対する意見】							
委員意見	委員評価								

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成29年度分

担当課

農林水産課

基本目標	1 産業振興・企業誘致・就業支援による働く場の確保
基本方向	基幹産業強化による地域経済の活性化 次世代産業の育成支援による地域経済の発展 地場産業の推進による地域のブランド化と雇用の増進
具体的施策	地場産業の育成支援
事業名	No.112 新規漁業者への支援及び環境整備
事業概要	漁業の担い手である新規漁業者を確保・育成するため支援体制を充実します。

計画 (P)→実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	新規漁業者数					
		KPI	平成31年度までに延べ12人					
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
		数値	2	4	1	2		
		達成率						
		目標事項						
		KPI						
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
		数値						
		達成率						
		目標事項						
		KPI						
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
		数値						
		達成率						
平成29年度	評価 (C)	【平成29年度評価】						
		担当課 評価	漁業就業支援フェアへ地元漁協及び漁業者が参加し、担い手の確保に努めたところ、勝浦漁協及び新勝浦市漁協において、それぞれ1名の新規担い手の確保に繋がった。現在は、担い手を受け入れた船主に対して国の事業を活用し、担い手の育成に努めている。					
	改善 (A)	B						
		【平成30年度における取組み】	千葉県や関係機関と連携して担い手の育成に努め、また、今年度と同様に漁業就業支援フェア等イベントの活用した担い手の確保について今後も取り組む考えである。					
	委員意見	【評価等に対する意見】						
		委員 評価						

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成29年度分

担当課

企画課

基本目標	1 産業振興・企業誘致・就業支援による働く場の確保
基本方向	基幹産業強化による地域経済の活性化 次世代産業の育成支援による地域経済の発展 地場産業の推進による地域のブランド化と雇用の増進
具体的施策	地場産業の育成支援
事業名	No.113 地(知)の拠点大学による地方創生の推進
事業概要	千葉大学及び文部科学省が展開する「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」の実施協働機関として連携し、地場産業等育成に努めます。

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項 新規就農者数							
		KPI 平成31年度までに延べ18人							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	3	1	0	0			
		達成率							
		目標事項 新規漁業者数							
		KPI 平成31年度までに延べ12人							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	2	4	1	2			
		達成率							
		目標事項 就業相談件数							
		KPI 平成31年度までに年間40件							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
	数値	40	20	24	36				
	達成率								
平成29年度	評価（C）	【平成29年度評価】							
		担当課評価	人口減少・若年層流出の課題を解決するため、県内の自治体、大学、企業等が協働して、若者が地域に定着するための教育プログラムの開発と魅力ある職づくりの開拓を進める「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」に参画しており、平成29年度も事業を推進している中、予定していた国際交流事業が中止となった。						
	改善（A）	【平成30年度における取組み】							
		予定していた国際交流事業の中止により、千葉大学及び文部科学省が展開する「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」の実施協働機関との連携可能性を検討する。							
	委員意見	【評価等に対する意見】							
委員評価									

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成29年度分

担当課

農林水産課

基本目標	1 産業振興・企業誘致・就業支援による働く場の確保
基本方向	基幹産業強化による地域経済の活性化 次世代産業の育成支援による地域経済の発展 地場産業の推進による地域のブランド化と雇用の増進
具体的施策	地場産業の推進による地域のブランド化
事業名	No.121 農林水産物の高付加価値化とブランド化
事業概要	農林水産業者に対し、高所得化経営の推進するための研修を行います。 首都圏まで75キロという地の利を活かした他の地域との差別化を図りながら、遊休農地を活用した農産物の開発、マグロ・キンメダイなどの水産物のブランド化を推進し、販路の拡大に努めます。

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項 新規就農者数							
		KPI 平成31年度までに延べ18人							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	3	1	0	0			
		達成率							
		目標事項 新規漁業者数							
		KPI 平成31年度までに延べ12人							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	2	4	1	2			
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
平成29年度	評価（C）	担当課評価	【農林】勝浦産米を含めた「いすみ米」のブランド化を図るとともに、遊休農地を活用して、施設によるスプレーストック等花きの栽培やキウイフルーツの産地化、スナックエンドウ等転作作物（野菜）の新たな取り組みを図るなどJA等と一体により推進活動を実施した。						
		B	【水産】一般消費者向けにカツオまつりを開催し、また、パイヤー等プロ向けのイベントとして築地にて開催したマカジキのPRイベントを通じて、地元水産物の付加価値化や消費拡大を図った。						
	改善（A）	【平成30年度における取組み】							
		【農林】農業事務所やJA等関係機関と連携を図り、栽培技術講習会や先進地視察を行い、所得向上に資する技術の確立に取り組むとともに、ほ場整備事業を契機に地域における担い手の確保するため集落での営農組織の育成により農産物の付加価値化に取り組む。 【水産】イベント等における消費拡大の推進も継続しつつ、更に流通関係に視野を置き、水産物認証制度等の検討を踏まえ、新たなブランド水産物への取り組む。							
	委員意見	【評価等に対する意見】							
		委員評価							

A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。

C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。

D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成29年度分

担当課

企画課

基本目標	1 産業振興・企業誘致・就業支援による働く場の確保
基本方向	次世代産業の育成支援による地域経済の発展 企業誘致の強化・起業支援の強化
具体的施策	企業誘致の強化・起業支援の強化
事業名	No.131 企業立地の促進
事業概要	行川アイランド跡地や学校跡地等を活用した事業所の新設等を行う企業に対し相談体制の充実を図り、奨励措置・融資等の企業支援を講じます。

計画 (P)→実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	企業誘致件数					
		KPI	平成31年度までに延べ3件					
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
		数値	3	0	1	2		
		達成率						
		目標事項						
		KPI						
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
		数値						
		達成率						
		目標事項						
		KPI						
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
		数値						
		達成率						
平成29年度	評価 (C)	【平成29年度評価】						
		担当課 評価	企業立地奨励金制度を金融機関等を通じて周知を行い、企業の新規進出や既存企業の支援に努め、1法人に奨励金を交付した。また、千葉県と連携した情報交換・企業訪問等により、本市の地域資源を最大限に活用した企業誘致に努め、学校跡地に2社立地した。併せて、行川アイランド跡地への宿泊型リゾート施設計画の実現に向けた支援を行った。					
	改善 (A)	A						
		【平成30年度における取組み】	市内企業への訪問により、奨励金制度の説明や企業ニーズの把握に努め、実情に即した的確な支援を行う。また、引き続き千葉県との積極的な連携により、本市への新規企業進出に向けた立地ニーズの把握や企業訪問などの取組を推進する。併せて、ビジネスシーンにおける本市の魅力のPRに努めるとともにツアーを実施するなどその実現性を高める。					
	委員意見	【評価等に対する意見】						
		委員 評価						

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成29年度分

担当課

観光商工課

基本目標	1 産業振興・企業誘致・就業支援による働く場の確保
基本方向	基幹産業強化による地域経済の活性化 次世代産業の育成支援による地域経済の発展 企業誘致の強化・起業支援の強化
具体的施策	企業誘致の強化・起業支援の強化
事業名	No.132 中小企業の振興
事業概要	経営の合理化や設備の近代化などに必要な融資を行い、併せて利子補給を実施することにより、市内中小企業の振興を図ります。

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項 就業相談件数							
		KPI 平成31年度までに年間40件							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	20	20	24	36			
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
平成29年度	評価（C）	【平成29年度評価】							
		担当課 評価	平成28年10月に認定を受けた「創業支援事業計画」に則り、勝浦市商工会及び日本政策金融公庫の協力により新たな中小企業向けの融資制度や利子補給等の検討が始まり、新たに中小企業の経営改善に関する利子補給事業が創設されることが決まった。						
	B								
	改善（A）	【平成30年度における取組み】							
		新たに創設されることとなった中小企業の経営改善に関する利子補給事業について、その要綱制定などを行い、中小企業の振興施策を推進する。 また、中小企業の支援として「革新的事業活動による生産性の向上の実現のための臨時措置法（仮称）」に係る「導入促進計画」の策定に基づき事業を実施し、併せて償却資産の課税標準額の割合（特例率）をゼロとし中小企業の生産性向上及び設備投資に対する支援を図る。							
	委員意見	【評価等に対する意見】							
委員 評価									

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成29年度分

担当課

観光商工課

基本目標	1 産業振興・企業誘致・就業支援による働く場の確保
基本方向	基幹産業強化による地域経済の活性化 次世代産業の育成支援による地域経済の発展 企業誘致の強化・起業支援の強化
具体的施策	企業誘致の強化・起業支援の強化
事業名	No.133 商店街の活性化
事業概要	商工会に対し、商店街活性化のための支援を実施し、各商店街の活性化を図ります。

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項 就業相談件数							
		KPI 平成31年度までに年間40件							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	20	20	24	36			
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
平成29年度	評価（C）	【平成29年度評価】							
		担当課評価	商店会の活性化に繋がるよう勝浦市商工会への補助を行ない、勝浦中央商店会で2回、興津商店会で1回商店街の各所を周遊し魅力を発見するようなスタンプラリーを行い集客を図った。						
	改善（A）	B	また、商店会の活性化に向けた創業者の支援を目的とした経済産業省の「創業支援事業計画」の認定を受け、勝浦市商工会と創業塾を開催し10名の参加者があり、参加者中2名の起業者を生むことができたが、総合戦略の目標値に近づけることができなかった。						
		【平成30年度における取組み】							
	委員意見	平成28年10月に認定を受けた「創業支援事業計画」に則り市内金融機関等の関係団体と協力し商店会の担い手となり得る創業者等の支援を行なう、併せて、引き続き勝浦市商工会を通じ勝浦中央商店会のほか各商店会が独自に実施する事業に対し補助金を交付をし活性化をより図る。							
		【評価等に対する意見】							

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
 B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
 C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
 D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
 E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。



平成29年度分

担当課

観光商工課

基本目標	1 産業振興・企業誘致・就業支援による働く場の確保
基本方向	基幹産業強化による地域経済の活性化 次世代産業の育成支援による地域経済の発展 企業誘致の強化・起業支援の強化
具体的施策	企業誘致の強化・起業支援の強化
事業名	No.134 起業支援
事業概要	商工会と連携して空き店舗調査等を行い、起業者に対し相談や資金面での支援体制の充実を図り、開業率の上昇を促進するように努めます。

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項 就業相談件数							
		KPI 平成31年度までに年間40件							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	20	20	24	36			
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
平成29年度	評価（C）	【平成29年度評価】							
		担当課評価	「かつうら観光ぷらっとフォーム事業」の中で、一般社団法人勝浦市観光協会が空き店舗を活用したアンテナショップの整備を行い事業を展開した。 勝浦市商工会と共催により平成28年10月に認定を受けた「創業支援事業計画」に則り「ワンストップ相談」に1名「かつうら創業塾」に10名の受講者があり、内10名に対し経済産業省産業競争力強化法施行規則（平成26年経済産業省令第1号）第7条第1項の規定に基づく証明を交付した。10名の交付者のうち2名が起業し市内に事業所を構えた。						
	改善（A）	B							
		【平成30年度における取組み】 引き続き、勝浦市商工会との協力により、創業支援事業計画に則り創業塾等の開催した、空き店舗の調査及び借用可能な店舗についての情報提供や条件整理について検討を行なう。 併せて、平成29年から一般社団法人勝浦市観光協会が実施している、空き店舗を活用したアンテナショップについて支援を行う。							
	委員意見	【評価等に対する意見】							
委員評価									

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
 B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
 C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
 D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
 E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成29年度分

担当課

観光商工課

基本目標	1 産業振興・企業誘致・就業支援による働く場の確保
基本方向	基幹産業強化による地域経済の活性化 次世代産業の育成支援による地域経済の発展 企業誘致の強化・起業支援の強化
具体的施策	企業誘致の強化・起業支援の強化
事業名	No.135 就労支援
事業概要	就労を希望する者の、職業相談支援を行い、雇用の創出を図ります。

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項 就業相談件数							
		KPI 平成31年度までに年間40件							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	20	20	24	36			
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
平成29年度	評価（C）	【平成29年度評価】							
		担当課評価	就労を希望する者へハローワークからの情報を、窓口にて気兼ねなく常に閲覧できる状況としている。 また、若者の未就労者対策として、千葉南東部地域サポートステーションが行う事業を支援として、サテライト相談の会場提供や就労に向けたイベントボランティア体験の受入情報等の提供を行なった。						
	B								
	改善（A）	【平成30年度における取組み】							
		平成28年10月に認定を受けた「創業支援事業計画」に基づき、市内金融機関等の関係団体と協力し創業者はもとより中小企業者等の支援を行なう。 ハローワークとの協力により、多くの情報が提供できるよう各メディアを活用し、求人情報を提供できるよう検討を行なうとともに、若者の未就労者対策については千葉南東部地域サポートステーションと協力し就業支援を行なう。							
委員意見	【評価等に対する意見】								
	委員評価								

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成29年度分

担当課

観光商工課

基本目標	2 観光による交流人口の拡大、移住・定住の促進
基本方向	魅力的な観光地の基盤づくりの強化 イベント活動の充実と魅力の向上
具体的施策	観光産業の育成・支援
事業名	No.211 観光案内の環境整備
事業概要	観光の基盤づくりとして観光拠点を強化し、観光客への情報発信体制を充実します。

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項 交流人口（観光入込客数）							
		KPI 平成31年度までに年間1,300千人							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	1,126	1,120	1,083	991			
		達成率							
		目標事項 市内宿泊客数							
		KPI 平成31年度までに年間310千人							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	291	296	284	318			
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
平成29年度	評価（C）	担当課評価	【平成29年度評価】 かつうら観光まちづくりコンソーシアム準備委員会を立ち上げ、日本版DMOに向けた組織構築の準備を行ない、新たな観光都市作りに向けた観光地再生戦略を策定した。						
		B	平成28年度に策定した観光地再生戦略に基づき、ヒジキを使ったスイーツソース（ウミーツ）の販売、観光を主とする業種の関係者を集め市内及び近隣の観光資源紹介ツアーの企画、民宿組合と提携したひな祭り宿泊プラン、JR東日本と提携したひな祭り関連商品の開発等を行なった。 総合戦略の目標値に反映するほどの効果は見られなかったが、海水浴場やイベント等天候に左右される事業の影響により入込客数は減少したが、宿泊客数が増加したのは再生戦略の実行の影響があると推測される。						
	改善（A）	【平成30年度における取組み】 観光地再生戦略に基づき観光拠点となりうる「ひと」「もの」の発掘等を引続き行い、平成29年度中に法人化した「一般社団法人勝浦市観光協会」の地力を向上させ、観光拠点として整備した鵜原理想郷等の見所や各種体験観光などを、各観光案内所やカッポービジャーセンター等を活用し、継続的に勝浦の魅力について情報発信を行ないます。							
		【評価等に対する意見】							
	委員意見	委員評価							

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
 B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
 C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
 D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
 E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成29年度分

担当課

観光商工課

基本目標	2 観光による交流人口の拡大、移住・定住の促進
基本方向	魅力的な観光地の基盤づくりの強化 イベント活動の充実と魅力の向上
具体的施策	観光産業の育成・支援
事業名	No.212 イベント活動の充実と新たな観光資源の整備
事業概要	既存イベント活動の充実を図るとともに、新たな観光資源の掘り起こしを行い地域の活性化を促進するよう努めます。

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項 交流人口（観光入込客数）							
		KPI 平成31年度までに年間1,300千人							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	1,126	1,120	1,083	991			
		達成率							
		目標事項 市内宿泊客数							
		KPI 平成31年度までに年間310千人							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	291	296	284	318			
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
平成29年度	評価（C）	【平成29年度評価】							
		担当課評価	入込客数は天候の影響等による海水浴場の減数の影響があるものの、かつうらビッグひな祭りを始めとする各イベントに関しては関係する団体等の潜在的な魅力を掘り起こすことを目的としコラボレーション等行なった結果増となった。しかしながら、総合戦略の目標値に反映するほどの効果は見られなかった。						
	改善（A）	B							
		【平成30年度における取組み】 観光地再生戦略に基づき観光拠点となりうる「ひと」「もの」の発掘等を引続き行い着地型観光の商品開発を行なう。 各イベントについては引続き勝浦の魅力を発信できるよう、地域おこし協力隊の活用等により市内の潜在的な魅力の発掘を行なって行く。							
	委員意見	【評価等に対する意見】							
委員評価									

A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。

C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。

D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成29年度分

担当課

企画課

基本目標	2 観光による交流人口の拡大、移住・定住の促進
基本方向	魅力的な観光地の基盤づくりの強化 イベント活動の充実と魅力の向上
具体的施策	観光産業の育成・支援
事業名	No.213 漁村・農村観光の促進
事業概要	今後の観光業の底上げを図るために漁業体験、農業体験などのメニューの構築や、観光マップの作成および周辺環境を整備し滞在時間の延長及び交流人口の増加を促進します。

計画（P）→実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項 交流人口（観光入込客数）							
		KPI 平成31年度までに年間1,300千人							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	1,126	1,120	1,083	991			
		達成率							
		目標事項 市内宿泊客数							
		KPI 平成31年度までに年間310千人							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	291	296	284	318			
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
平成29年度	評価（C）	【平成29年度評価】							
		担当課 評価	住民主導によるまちづくりを支援する事業を平成27年度から実施し、鵜原区、松野・小松野区、大森区の3区で自主的な地域課題への取組に対する補助金の交付を行ってきた。						
	改善（A）	B	鵜原区では、鵜原理想郷の来訪者に対する観光ボランティアの育成や実践を行い、松野・小松野地区では、外国人の受入可能性を探るためのモニターツアーを開催するなど、地域住民による主体的な観光地の基盤づくりに繋がってきている。						
		【平成30年度における取組み】							
	委員意見	住民主導によるまちづくりを支援する事業に対する補助金交付を通じて、地域住民が地域の持つ魅力を認識し、観光資源に活かすなど、地域課題に対して意欲的に取り組む地域を拡大できるよう、当該補助金交付団体の活動報告会の実施や市広報による補助事業制度の周知を図る。							
		【評価等に対する意見】							

A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。

C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。

D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成29年度分

担当課

企画課

基本目標	2 観光による交流人口の拡大、移住・定住の促進
基本方向	UIJターンの促進
具体的施策	移住・定住の促進
事業名	No.221 UIJターンの促進
事業概要	都市住民を対象に本市への移住・定住するためのきっかけづくりに取り組み、移住・定住を支援する体制を構築します。

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項 移住相談件数							
		KPI 平成31年度までに年間200件							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	126	144	154	161			
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
平成29年度	評価（C）	【平成29年度評価】							
		担当課評価	問い合わせ件数は増えてつつあるため、このままホームページや定住イベントへの参加を継続していきたい。						
		B							
	改善（A）	【平成30年度における取組み】							
		問い合わせ件数が徐々に増えており、移住への関心の高まりを感じるが、今後も勝浦の魅力を伝えるため「ふるさと回帰フェア」、「移住・定住&地域おこしフェア」などのイベントを活用していきたい。							
委員意見	【評価等に対する意見】								
	委員評価								

A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。

B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。

C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。

D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。

E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成29年度分

担当課

企画課

基本目標	2 観光による交流人口の拡大、移住・定住の促進
基本方向	UIJターンの促進
具体的施策	移住・定住の促進
事業名	No.222 田舎暮らしの魅力発信
事業概要	都市住民へ本市の魅力を体験してもらうため、お試し居住施設の整備を図ります。

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
平成29年度	評価（C）	【平成29年度評価】							
		担当課評価	27年度から開始した田舎暮らし体験施設については、利用人数が27年度4人（70日間利用）、28年度11人（214日間利用）、29年度13人（102日間利用）と増加傾向にある。						
		B							
	改善（A）	【平成30年度における取組み】							
		体験施設利用者からは、施設の内容については概ね満足を得ているが、さらに勝浦や夷隅地域の魅力をご理解いただけるよう地元開催イベントの紹介や田舎暮らしの相談にのるなどし、利用後に再び勝浦を訪れたり、定住先としてしてもらうなどの実績を増やしていきたい。							
委員意見	委員評価	【評価等に対する意見】							

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成29年度分

担当課

企画課

基本目標	2 観光による交流人口の拡大、移住・定住の促進
基本方向	UIJターンの促進
具体的施策	移住・定住の促進
事業名	No.223 若者定住の推進
事業概要	定住を希望する若い夫婦に対し、経済的負担を軽減するため、奨励金を交付します。

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項 奨励金交付件数							
		KPI 平成31年度までに年間20件							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	20	19	10	14			
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
平成29年度	評価（C）	【平成29年度評価】							
		担当課評価	奨励金制度の利用者は27年度に19件、28年度に10件と減少したが、29年度は14件に増加した。						
		C							
	改善（A）	【平成30年度における取組み】							
		人口減少傾向が強まる中、制度をより強く広報することで移住者が勝浦を選ぶ際に後押しをする必要が有る。							
委員意見	【評価等に対する意見】								
	委員評価								

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
 B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
 C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
 D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
 E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。



平成29年度分

担当課

都市建設課

基本目標	2 観光による交流人口の拡大、移住・定住の促進
基本方向	UIJターンの促進
具体的施策	移住・定住の促進
事業名	No.224 住環境の整備
事業概要	アパート経営者に対し、単身者向けから、ファミリー向けに改装した場合に補助を行い住環境の充実を図ります。

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
平成29年度	評価（C）	【平成29年度評価】							
		担当課 評価	勝浦市集合住宅リフォーム補助金交付要綱を策定し、ホームページ等で周知を行ったが、リフォーム工事の申請までは至らなかった。						
		B							
	改善（A）	【平成30年度における取組み】							
		集合住宅リフォーム補助金制度の活用促進を図るため、引き続きホームページ等により周知を行う。							
	委員意見	【評価等に対する意見】							
委員 評価									

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成29年度分

担当課

社会教育課

基本目標	3 子育て・教育環境の向上と充実
基本方向	出会い、妊娠、出産、子育てがしやすい環境の実現
具体的施策	婚活・妊活・出産・子育て支援
事業名	No.311 婚活の支援
事業概要	男女の出会いの場の創出として、婚活イベントやセミナーの開催、結婚相談などの体制を強化し、結婚成立のための支援を行います。

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
平成29年度	評価（C）	【平成29年度評価】							
		担当課 評価	「結婚相談所」登録者への結婚相談及びアドバイス、マッチングから成婚まで導いていただく活動を行っていただくにあたり、「婚活支縁員」としての心構え・役割・重要性などを認識していただくため、専門家を招き「婚活支縁員」養成講座を開催。（2回開催）						
	改善（A）	B	「婚活支縁員」に企画から運営を委託し、未婚男女を対象とした出会いの場の提供として、人と人との結びつき、恋活・婚活を支援するためのイベント（寺コン）を開催。（1回開催・男女各21人参加）						
		【平成30年度における取組み】							
	委員意見	改 善（A）	「結婚相談所」新規登録者の募集、「婚活支縁員」による登録者の面談・マッチング・成婚までの支援。 「婚活支縁員」を主体とし、未婚者を対象とした婚活イベントの開催。大人数での「パーティー形式」、物作りや屋内外での運動などの体験をしながら交流、気軽に参加できるような出会い・ふれあいの場としての「体験型形式」を予定。 近隣市町自治体と連携してのイベント開催を検討。						
		【評価等に対する意見】							
		委 員 評 価							

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成29年度分

担当課

企画課

基本目標	3 子育て・教育環境の向上と充実
基本方向	出会い、妊娠、出産、子育てがしやすい環境の実現
具体的施策	婚活・妊活・出産・子育て支援
事業名	No.312 子どもを産み、育てる支援(妊娠から就学前まで)
事業概要	妊娠から出産までの支援、産後の健やかな成長を見守る専門的な支援の充実を図ります。 具体的な事例 ・男性の積極的な子育て参加を促進するため、セミナーなどを開催します。

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項 1歳6ヶ月児健診率							
		KPI 平成31年度までに90.0%							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	83.5	82.2	94.3	95.9			
		達成率							
		目標事項 3歳児健診率							
		KPI 平成31年度までに90.0%							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	89.8	84.5	95.2	91.2			
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
平成29年度	評価（C）	【平成29年度評価】							
		担当課評価	今まで行われていなかった子育てイベントを平成27年度から実施しており、平成27年度2000人、平成28年度1500人、平成29年度1400人の親子の参加があり、子育てにかかる悩みの相談や子どもの成長を確認出来るようなイベントも盛り込み、同時開催として男女共同参画事業としてお父さんと作るお菓子の家づくりを開催した。						
	改善（A）	A							
		【平成30年度における取組み】 平成29年度までは未就学児童から小学生年少児童までを対象としたイベントとしていたが、これまで実施していた子育てイベントの対象年齢を絞り、夏に小学生向けの科学実験教室を、冬には未就学児童を対象とした従前のようなイベントを開催することで、各子育て世代のニーズに対応した事業とする。							
	委員意見	【評価等に対する意見】							
委員評価									

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成29年度分

担当課

介護健康課

基本目標	3 子育て・教育環境の向上と充実
基本方向	出会い、妊娠、出産、子育てがしやすい環境の実現
具体的施策	婚活・妊活・出産・子育て支援
事業名	No.312 子どもを産み、育てる支援(妊娠から就学前まで)
事業概要	<p>妊娠から出産までの支援、産後の健やかな成長を見守る専門的な支援の充実を図ります。</p> <p>具体的な事例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産前・産後ケアの充実を図るため、保健師などによる訪問を行います。</li> <li>・母子の健康保持、増進を図るため、保健指導、健康診査、育児相談などを実施します。</li> <li>・妊婦を対象とした事業を実施し、妊婦同士の交流の場を提供することで子育ての孤立の防止や妊娠期から行政と顔の見える関係性を構築するよう努めます。</li> <li>・子どもを望む夫婦に対して、不妊治療への助成金を支給し経済的負担の軽減を図ります。</li> </ul>

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項 1歳6ヶ月児健診率							
		KPI 平成31年度までに90.0%							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	83.5	82.2	94.3	95.9			
		達成率							
		目標事項 3歳児健診率							
		KPI 平成31年度までに90.0%							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	89.8	84.5	95.2	91.2			
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
平成29年度	評価（C）	【平成29年度評価】							
		担当課評価	受診率は、1歳6か月健診においては前年度よりも上昇した。保護者への意識づけを高めることと、就業している保護者が予定をたてやすくすることを目的に、前年度より個別通知を早くした（約2ヶ月前）。また、未受診者に対しては、地区担当保健師による電話での確認の他に、未受診者用の通知文を作り、保護者の意識を高めた。						
	改善（A）	A							
		【平成30年度における取組み】 早期の個別通知及び保育所等にポスターを掲示する他に、保育士等からの周知をしてもらえるように働きかけていくなどの工夫を実施する。未受診者への電話勧奨、聞き取り調査の実施。妊婦を対象としたマタニティクラスの代替として「ブレバパパ・ブレママの歯と口の健康教室」を実施予定							
	委員意見	委員評価							

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
 B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
 C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
 D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
 E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成29年度分

担当課

福祉課

基本目標	3 子育て・教育環境の向上と充実
基本方向	出会い、妊娠、出産、子育てがしやすい環境の実現
具体的施策	婚活・妊活・出産・子育て支援
事業名	No.312 子どもを産み、育てる支援(妊娠から就学前まで)
事業概要	<p>妊娠から出産までの支援、産後の健やかな成長を見守る専門的な支援の充実を図ります。</p> <p>具体的な事例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て必需品であるオムツ等を助成し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。</li> <li>・多子世帯の第3子以降の保育所・幼稚園の保育料を軽減することで、多子世帯の経済的負担の軽減を図ります。</li> </ul>

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項 1歳6ヶ月児健診率							
		KPI 平成31年度までに90.0%							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	83.5	82.2	94.3	95.9			
		達成率							
		目標事項 3歳児健診率							
		KPI 平成31年度までに90.0%							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	89.8	84.5	95.2	91.2			
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
	数値								
	達成率								
平成29年度	評価（C）	【平成29年度評価】							
		担当課評価	乳児おむつ助成受給券及びおむつ廃棄用ごみ袋支給事業について、平成29年度より乳児おむつ助成受給券の枚数を1枚から12枚に増やし、更なる子育て支援を図った。多子世帯第3子以降の保育所保育料助成についても引き続き実施し、継続して保護者の経済的負担を軽減し、子育て世帯の支援の充実を図った。						
		B							
	改善（A）	【平成30年度における取組み】							
		乳児おむつ助成受給券及びおむつ廃棄用ごみ袋支給事業について、平成30年度より乳児おむつ助成受給券の枚数を12枚から13枚に増やし、引き替えることができる品目（おしりふき）を追加する。多子世帯第3子以降の保育所保育料助成についても引き続き実施し、継続して保護者の経済的負担を軽減し、子育て世帯の支援の充実を図る。							
	委員意見	【評価等に対する意見】							
		委員評価							

- A:目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
B:ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
C:目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
D:目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
E:目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成29年度分

担当課

教育課

基本目標	3 子育て・教育環境の向上と充実
基本方向	出会い、妊娠、出産、子育てがしやすい環境の実現
具体的施策	婚活・妊活・出産・子育て支援
事業名	No.312 子どもを産み、育てる支援(妊娠から就学前まで)
事業概要	妊娠から出産までの支援、産後の健やかな成長を見守る専門的な支援の充実を図ります。 具体的な事例 ・多子世帯の第3子以降の保育所・幼稚園の保育料を軽減することで、多子世帯の経済的負担の軽減を図ります。

計画(P)↓実施(D)	目標事項・進捗状況	目標事項							
		KPI							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
		数値							
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
		数値							
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
		数値							
		達成率							
平成29年度	評価(C)	【平成29年度評価】							
		担当課評価	軽減対象世帯を抽出後、対象世帯への個別通知により申請を促し、軽減対象世帯全4世帯に対し、総額201,000円を助成した。						
	改善(A)	B							
		【平成30年度における取組み】	昨年度同様、軽減対象世帯を抽出、個別に通知することにより軽減対象世帯からの申請漏れがないように引き続き努める。						
	委員意見	【評価等に対する意見】							
		委員評価							

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
 B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
 C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
 D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
 E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成29年度分

担当課

教育課

基本目標	3 子育て・教育環境の向上と充実
基本方向	出会い、妊娠、出産、子育てがしやすい環境の実現
具体的施策	婚活・妊活・出産・子育て支援
事業名	No.313 子どもを産み、育てる支援(就学から高校を卒業するまで)
事業概要	児童・生徒の学力向上に向けた研究を行うとともに、国際化に対応した人材の育成を推進するよう努めます。

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
平成29年度	評価（C）	【平成29年度評価】							
		担当課評価	定員15名に対し、当初10名の応募であったが、内1名が私事都合により辞退したため、9名の参加となった。統合により中学校1校となったことから、文化発表会において海外派遣報告会を実施するなど、フィードバックにも工夫を行った。また外国語指導助手については2名（ともに女性）を学校へ派遣するとともに、勝浦幼稚園への派遣も行った。						
	改善（A）	B							
		【平成30年度における取組み】 中学生海外派遣事業については昨年度と同様、定員15名で実施 外国語指導助手については、平成32年度からの小学校の英語必修化に備え、1名を増員し3名により対応する。							
	委員意見	【評価等に対する意見】							
		委員評価							

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成29年度分

担当課

企画課

基本目標	3 子育て・教育環境の向上と充実
基本方向	出会い、妊娠、出産、子育てがしやすい環境の実現
具体的施策	婚活・妊活・出産・子育て支援
事業名	No.314 子どもを産み、育てる支援(出産から高校を卒業するまで)
事業概要	次世代を担う子どもたちに、まちづくりに関心を持つ環境・土壌づくり、地域教育の充実育成を推進するよう努めます。

計画(P)↓実施(D)	目標事項・進捗状況	目標事項	子どもによるまちづくり提案事業件数(延べ)						
		KPI	平成31年度までに18件						
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	2	2	7	12			
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
平成29年度	評価(C)	【平成29年度評価】							
		担当課評価	採択された活動件数は昨年度と同数の5件であり、子どもたちのまちづくりへの関心と郷土愛の熟成に貢献した。						
		B							
	改善(A)	【平成30年度における取組み】							
		継続して本事業を周知するだけでなく、活発な審査会および報告会となるよう工夫する。							
	委員意見	【評価等に対する意見】							
		委員評価							

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。



平成29年度分

担当課

教育課

基本目標	3 子育て・教育環境の向上と充実
基本方向	出会い、妊娠、出産、子育てがしやすい環境の実現
具体的施策	婚活・妊活・出産・子育て支援
事業名	No.314 子どもを産み、育てる支援(出産から高校を卒業するまで)
事業概要	次世代を担う子どもたちに、まちづくりに関心を持つ環境・土壌づくり、地域教育の充実育成を推進するよう努めます。

計画(P)↓実施(D)	目標事項・進捗状況	目標事項	子どもによるまちづくり提案事業件数(延べ)					
		KPI	平成31年度までに18件					
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
		数値	2	2	7	3		
		達成率						
		目標事項						
		KPI						
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
		数値						
		達成率						
		目標事項						
		KPI						
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
		数値						
		達成率						
平成29年度	評価(C)	【平成29年度評価】						
		担当課評価	各学校において特色ある学校教育を展開し、郷土の産業等への理解を深めるような授業を実施するとともに、こどもによるまちづくり提案事業においては平成28年度と同様に、上野、勝浦、豊浜小学校から提案がされ採択されたものの、その他の小中学校からの提案は行われなかった。					
	改善(A)	B						
	委員意見	【平成30年度における取組み】	昨年度に引き続き各学校において特色ある学校教育が展開できるよう必要に応じて予算措置を行った。またこどもによるまちづくり提案事業について、全ての小中学校から提案されるよう、校長会、教頭会等において制度の周知を図る。					
	委員意見	【評価等に対する意見】						
		委員評価						

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成29年度分

担当課

福祉課

基本目標	3 子育て・教育環境の向上と充実
基本方向	子育て及び教育にかかる施設等の整備
具体的施策	子育て支援施設及び学校の整備維持
事業名	No.321 子どもを産み、育てる支援(妊娠から就学前まで)
事業概要	親子の集い、子育て相談、子育てに関する情報発信する地域子育て支援センターを併設した幼保連携型認定こども園を整備します。

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項 1歳6ヶ月児健診率							
		KPI 平成31年度までに90.0%							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	83.5	82.2	94.3	95.9			
		達成率							
		目標事項 3歳児健診率							
		KPI 平成31年度までに90.0%							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	89.8	84.5	95.2	91.2			
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
平成29年度	評価（C）	【平成29年度評価】							
		担当課評価	中央保育所仮設園舎整備工事及び認定こども園建設設計業務、地質調査業務、中央保育所解体工事設計業務を実施し、地域子育て支援センターを併設した幼保連携型認定こども園整備事業を推進した。						
		B							
	改善（A）	【平成30年度における取組み】							
		中央保育所解体工事及び地域子育て支援センターを併設した幼保連携型認定こども園建設工事に着手する。							
	委員意見	【評価等に対する意見】							
		委員評価							

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成29年度分

担当課

教育課

基本目標	3 子育て・教育環境の向上と充実
基本方向	子育て及び教育にかかる施設等の整備
具体的施策	子育て支援施設及び学校の整備維持
事業名	No.322 学校の整備
事業概要	児童生徒数の動向を踏まえた学校規模の適正化や適正配置をはじめ、計画的な施設の維持補修に努めます。

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
平成29年度	評価（C）	【平成29年度評価】							
		担当課評価	郁文小学校の統合について、6月に勝浦小学校との統合について保護者からの同意を得た。その後9月議会において「勝浦市立小、中学校設置条例の一部を改正する条例」が可決された。						
		B							
	改善（A）	【平成30年度における取組み】							
		郁文小学校と勝浦小学校の統合について事前交流事業に係るバス借上料を予算措置 郁文小学校児童が統合後円滑に学校生活が送れるよう十分に事前交流を実施する。							
	委員意見	【評価等に対する意見】							
委員評価									

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成29年度分

担当課

企画課

基本目標	4 地域交流・地域振興の促進
基本方向	主体性を持ったまちづくりへの参加支援
具体的施策	地域づくりの支援
事業名	No.411 住民主導型地域づくり支援
事業概要	住民が自ら、自発的に考え、行動し、地域の課題について考え、地域資源を活かし、地域の環境向上を行うことを支援し、市主導ではない、住民主導の地域づくりの芽を育みます。

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項 住民主導型地域づくり支援事業件数							
		KPI 平成31年度までに延べ8件							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	-	2	3	3			
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
平成29年度	評価（C）	【平成29年度評価】							
		担当課評価	住民主導によるまちづくりを支援する事業を平成27年度から実施し、鵜原区、松野・小松野区、大森区の3区で自主的な地域課題への取組に対する補助金の交付を行ってきた。						
		A	鵜原区では鵜原理想郷の来訪者に対する観光ボランティアの育成や実践等を、松野・小松野地区では外国人の受入可能性を探るためのモニターツアーの開催等を、大森区では健康寿命の延伸を目的とした散策路の整備を行ってきた。						
	改善（A）	【平成30年度における取組み】							
		平成30年度においても継続して各地区の自主性に基づいた活動を補助金を通じて支援するとともに、補助金の支援が5年であることから、6年目でも持続可能な活動になるよう協議、相談を行っていく。							
委員意見	【評価等に対する意見】								
	委員評価								

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成29年度分

担当課

介護健康課

基本目標	4 地域交流・地域振興の促進
基本方向	健康寿命の延伸
具体的施策	地域づくりの支援
事業名	No.412 国際武道大学との連携による健康増進
事業概要	子どもから高齢者まで心身ともに健やかに暮らせるように、国際武道大学と連携し、各種スポーツの振興を図ります。 具体的な事例 ・健康増進に対して活動を行っている市民団体に対して支援を行います。

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項 特定健診受診率(国民健康保険)							
		KPI 平成31年度までに60.0%							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	22.6	25.6	24.0	25.2			
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
平成29年度	評価（C）	【平成29年度評価】							
		担当課評価	基準値よりも上昇しているが受診率自体は一進一退となっている。対象者への一斉通知等を実施しても、職場での受診、恒常的に医療機関に受診していることを理由に市で実施する健診を受診しないケースがある。						
		C							
	改善（A）	【平成30年度における取組み】							
		対象者への一斉通知、過去の受診歴を参照し未受診者へ電話による受診勧奨を実施							
	委員意見	【評価等に対する意見】							
		委員評価							

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成29年度分

担当課

社会教育課

基本目標	4 地域交流・地域振興の促進
基本方向	健康寿命の延伸
具体的施策	地域づくりの支援
事業名	No.412 国際武道大学との連携による健康増進
事業概要	子どもから高齢者まで心身ともに健やかに暮らせるように、国際武道大学と連携し、各種スポーツの振興を図ります。 具体的な事例 ・国際武道大学と連携し各種スポーツ教室等を開催し市民の健康づくりを推進します。

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項 学校施設開放事業登録団体数							
		KPI 平成31年度までに42団体							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	39	36	31	33			
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
平成29年度	評価（C）	【平成29年度評価】							
		担当課評価	一部の団体では会員の減少に伴い、利用を中止した団体や統合した団体があったが、利用者の会員数は増加している。（H27 564人→H28 500人→H29 581人）また、国際武道大学との連携により、大人から子どもまで幅広い世代が交流できるバレーボールや弓道教室を開催した他、小学生を対象とした器械体操教室、20歳以上を対象とした大人の体力測定を開催し、スポーツ振興と健康づくりの推進を図った。						
	改善（A）	B							
		【平成30年度における取組み】 平成28年度に比べ29年度は利用団体が増加している。さらに、使いやすい環境を整え利用を促進するため、利用団体から意見を徴収します。							
	委員意見	【評価等に対する意見】							
委員評価									

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
 B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
 C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
 D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
 E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成29年度分

担当課

企画課

基本目標	4 地域交流・地域振興の促進
基本方向	主体性を持ったまちづくりへの参加支援
具体的施策	地域づくりの支援
事業名	No.413 広域連携の促進
事業概要	地域の実情に応じた自治体間の連携を深め、事務分担や政策面において自由度を拡大して広域連携を促進するよう努めます。

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項	
		KPI	
		基準値	27年度
		28年度	29年度
		30年度	31年度
		備考	
		数値	
		達成率	
		目標事項	
		KPI	
		基準値	27年度
		28年度	29年度
		30年度	31年度
		備考	
		数値	
		達成率	
		目標事項	
		KPI	
		基準値	27年度
		28年度	29年度
		30年度	31年度
		備考	
		数値	
		達成率	
平成29年度	評価（C）	【平成29年度評価】	
		担当課評価	和歌山県那智勝浦町の『南の国の雪まつり』、徳島県勝浦町の『軽トラ市』へ出展した。また、『かつうら魅力市』では那智勝浦町と勝浦町に出展いただき、1市2町の交流を深めた。
	改善（A）	B	
	委員意見	【平成30年度における取組み】	本年度も例年並みの活動予定であるが、より勝浦をPRできる出展内容になるよう検討する。主に、いままで販売していなかった物産品を幅広く販売し、勝浦市の産物をPRする。ふるさと納税の返礼品について、和歌山県勝浦町及び徳島県勝浦町との連携を検討する。また、西東京市とは、相互の子どもたちがスポーツや農漁業体験を通して交流を図る。
		【評価等に対する意見】	
	委員評価	委員評価	
	委員意見		

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成29年度分

担当課

企画課

基本目標	4 地域交流・地域振興の促進
基本方向	主体性を持ったまちづくりへの参加支援
具体的施策	地域づくりの支援
事業名	No.414 国際化の推進
事業概要	市民の国際化社会への対応や、異文化交流に接する機会増進を目的として、姉妹都市の提携などを検討します。

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考	
	数値								
	達成率								
平成29年度	評価（C）	【平成29年度評価】							
		担当課評価	時差の少なさや、海岸観光を利用した産業体系、オリンピックサーフィン競技の強豪国であることなど、勝浦市と関連事項の多いオーストラリアを交流の可能性の有る対象国として選定した。						
	改善（A）	B	自治体国際化協会（CLAIR）のホームページに姉妹交流を希望する自治体として掲載を行った。						
		【平成30年度における取組み】							
	委員意見	CLAIR、JETRO等と連携を図りつつ、海外都市との交流の可能性を引き続き模索する。又、国際武道大学留学生等との交流機会の創出・拡大等による異文化交流を推進する。							
		【評価等に対する意見】							

委員評価	委員	
	評価	

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。



平成29年度分

担当課

教育課

基本目標	4 地域交流・地域振興の促進
基本方向	主体性を持ったまちづくりへの参加支援
具体的施策	地域づくりの支援
事業名	No.414 国際化の推進
事業概要	市民の国際化社会への対応や、異文化交流に接する機会増進を目的として、姉妹都市の提携などを検討します。

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項							
		KPI							
		数値	基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
		数値	基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
		数値	基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		達成率							
平成29年度	評価（C）	【平成29年度評価】							
		担当課 評価 B	中学生海外派遣事業において、オーストラリアのブリスベンの学校と参加生徒の交流を実施した。国際武道大学留学生との交流事業を平成30年12月20日に1回、上野小学校が実施した。						
	改善（A）	【平成30年度における取組み】							
		昨年度に引き続き、中学生海外派遣事業においてオーストラリアのブリスベンの学校と交流事業を実施する。 昨年度上野小学校が実施した留学生との交流事業をモデルとして、学校主体の交流事業の実施について検討を行う。							
	委員意見	【評価等に対する意見】							
		委員 評価							

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成29年度分

担当課

企画課

基本目標	4 地域交流・地域振興の促進
基本方向	地域振興拠点施設の整備
具体的施策	地域交流・地域振興施設の整備
事業名	No.421 地域交流の拠点、生活利便施設等の整備(小さな拠点)
事業概要	総野地区に道の駅、上野地区に生活利便施設等の地域住民の交流と生活利便性の向上、雇用の創出、農業等の地域振興のための整備を推進します。

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値							
		達成率							
平成29年度	評価（C）	【平成29年度評価】							
		担当課評価	千葉県が整備を進めている国道297号松野バイパスの整備の沿道において、地域住民の生活利便機能を備え、雇用創出、交流人口の増加を図ることができる道の駅整備に向け、基本計画の策定・事業手法の検討調査を行った。						
		B							
	改善（A）	【平成30年度における取組み】							
		平成29年度に策定した基本計画に基づき、その整備スケジュールと財源確保の課題を検討する必要がある。 これら課題を調整した上で、土地収用法に基づく事業認定を前提とした基本設計の作成を行う。							
	委員意見	【評価等に対する意見】							
		委員評価							

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成29年度分

担当課

企画課

基本目標	4 地域交流・地域振興の促進
基本方向	地域振興拠点施設の整備
具体的施策	地域交流・地域振興施設の整備
事業名	No.422 公共交通の整備
事業概要	平成26年10月から新たな公共交通施策として実施している予約制乗合タクシーの実証運行を継続して行い、市民の移動手段の確保及び検討を行います。

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項							
		KPI							
		数値	基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
		数値	基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
		数値	基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		達成率							
平成29年度	評価（C）	【平成29年度評価】							
		担当課評価	勝浦市生活交通ネットワークに示された目標は、1日あたりの利用者数19.0人であるが、平成29年度の1日あたりの利用者数は16.6人であり、目標に達していない。しかしながら、土曜日運行を開始し利便性を向上させ、市民の移動手段としての役割を担った。						
	改善（A）	C							
	委員意見	【評価等に対する意見】							

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。